

支部だより
北信越支部

総会・授賞式・研究発表会・製品発表検討会 の報告

北信越支部では5月18日に支部総会，支部賞授賞式および研究発表会，製品発表検討会を長岡技術科学大学において開催しました。37件の発表があり，70名が参加しました。総会では，2001年度事業報告，会計報告および2002年度事業計画，予算案が承認されました。また副支部長に新田隆三氏（信州大学），支部理事に岩井邦中氏（信州大学）が新たに選出されました。授賞式では大沼賞，雪氷功労賞がそれぞれ2名に贈られました。支部賞受賞者とプログラムを以下に紹介します。なお，予稿集を兼ねた支部機関誌『雪氷北信越』をご希望の方は、有料で頒布しますので下記にご連絡下さい。数に限りがありますので、お早めにお申込み下さい。

『雪氷北信越』第22号お問い合わせ先

〒940-0821 新潟県長岡市栖吉町前山 187-16
長岡雪氷防災研究所内
日本雪氷学会北信越支部事務局 石坂雅昭
Tel:0258-35-7522 Fax:0258-35-0020
e-mail ishi@bosai.go.jp

支部賞受賞者

大沼賞：

竹井 巖「積雪の誘電的性質に関する研究」

佐藤国雄「『雪国大全』による雪国文化の集大成」

雪氷功労賞：

河田脩二「北信越支部、特に石川地区における活動への貢献」

山田 穰「長年にわたる北信越地域の雪崩研究と支部活動への貢献」

研究発表会・製品発表検討会プログラム

第1会場（D講義室：1F）

・10:45-12:00

座長：早川典生（長岡技術科学大学）

*** 製品発表検討会 ***

1. 田村式降雪・降雨強度計
田村盛彰（田村雪氷計測研究所）
2. 光波式積雪深計 5 ケ年間の観測
◦加藤務（新潟電機（株））・小林俊一（新潟大災害研）・河島克久（鉄道総研）・湯之谷村建設課
3. 煙型雪崩シミュレータの開発
浅野正彦（カテナ）・◦福嶋祐介（長岡技大）

*** 研究発表会 ***

4. $k - \varepsilon$ 乱流モデルによる地吹雪の解析と雪の連行係数
菊地卓郎（福島高専）・◦福嶋祐介（長岡大）・西村浩一（北大低温研）
5. 吹雪発達過程における応力分布の時間変化
◦根本征樹・小林俊一（新潟大災害研）・西村浩一（北大低温研）

. 14:00-15:00

座長：福嶋祐介（長岡技術科学大学）

6. 雪崩流動シミュレーションの検証
◦加地智彦・早川典生・上石勲（長岡技術科学大学）
7. 煙型雪崩の $k - \varepsilon$ 乱流モデルによる数値シミュレーションの試み
◦衛藤俊彦・福嶋祐介（長岡技大）
8. 画像解析による模擬雪崩の流速ベクトル算出と数値解析との比較
◦衛藤俊彦・高木正徳・福嶋祐介（長岡技大）・榎本真人（中部）
9. 雪中爆破による人工雪崩発生技術に関する実験
◦町田誠（町田建設）・早川典生・加地智彦（長岡技科大）・川田邦夫（富山大学）

. 15:00-15:45

座長：小南靖弘（農業技術研究機構北陸研究センター）

10. 新旧平年値の比較からわかる北陸地域の積雪環境の変化の特徴
石坂雅昭（防災科研・長岡）
11. 日本海沿岸域冬季の降水数値実験の検討

- 熊倉俊郎（長岡技科大）・豊田文吾（NEC
ネクスソリューションズ）・早川典生（長岡
技科大）
- 12．立山山岳地域の高度別融雪特性（2001年融雪
期）
- 大塚憲一・川田邦夫・遠山和大（富山大学）

．15:45-16:30

**座長：杉森正義（福井県生コンクリート工業
組合，福井大地域協同研究センター）**

- 13．レーダーエコーパターン別に見た長岡周辺の
降雪分布
- 中井専人（防災科研・雪氷）・岩波越・三隅
良平・朴相郡（防災科研・基盤）・清水増治
郎・小林俊市（防災科研・雪氷）
- 14．衛星データによる積雪領域の抽出手法
- 向井幸男・早川典生・力丸厚・高橋一義・
中西芳彦（長岡技大）
- 15．2002年1月中国黒竜江省積雪調査
- 川田邦夫（富山大学・極東研）・上石勲（（株）
アルゴス）・猪野祐一・田之脇潤・早川典生
（長岡技科大）

．16:30-17:30

座長：遠藤八十一

- 16．妙高・幕の沢で発生した湿雪表層雪崩
- 竹内由香里・遠藤八十一・山野井克己・村
上茂樹・庭野昭二・渡辺成雄（森林総研十日
町試験地）・武士俊也（土木研新潟試験所）
- 17．ブロック雪崩の衝撃力特性
- 庄司淳・笠井孝洋・和泉薫（新潟大災害研）
- 18．2002年冬の横倉雪崩観測
- 伊藤文雄（福井大教地科部）・北川博正（福
井県自然保セ）・服部勇（福大教地科部）
- 19．新潟県三国峠における冬期気象の経年変化と
雪崩について
- 町田敬（長岡技科大）・佐藤和秀（長岡高
専）・町田誠（町田建設）

第2会場（E講義室：2F）

．10:45-12:00

座長：佐藤和秀（長岡工業高等専門学校）

- 20. 流量計式ライシメータによる融雪量測定
横山宏太郎・小南靖弘（農研機構北陸研究センター）・石丸民之永・丸山敏介（新潟電機）
- 21. メタルウェファアのユニットの大きさについて
石丸民之永・羽賀秀樹（新潟電機㈱）・佐藤威・望月重人（防災科研雪氷防災研究部門）
- 22. 不凍液を注入した2つのホース状容器に作用した積雪重量
清水増治郎（防災科研雪氷）・石丸民之永・羽賀秀樹（新潟電機）
- 23. 二つの硬度計による道路雪氷硬度の測定
小林俊市・佐藤威・小杉健二（防災科研・雪氷防災研究部門）
- 24. 複数熱交換井の切替え時間制御による熱出力制御
上村靖司（長岡技科大）・渡部亮一（長岡技科大院）

. 14:00-15:15

座長：上村靖司（長岡技術科学大学）

- 25. 気液混相流輸送による熱サイホン発電の高度化
対馬勝年（富山大）・長井茂・安江経和・尾形賢（日本エコエネ研）
- 26. 交通信号機上の冠雪処理に関する実験
松原鉄弥・堀江宏伸（新潟大・自然科学研究科）小林俊一・和泉薫（新潟大・災害研）
佐藤威（防災科技研・新庄）
- 27. 新潟県における雪室の分布と雪利用文化
和泉薫・小林俊一（新潟大・災害研）・石坂雅昭（防災科研・長岡）
- 28. 昭和20年大雪時の雪に関する新聞記事
杉森正義（福井県生コンクリート工業組合，福井大学地域協同研究センター）・川本義海・本多義明（福井大学工学部建築建設工学科）
- 29. 新聞紙上に登場する例えとしての雪氷用語
納口恭明・下川信也・林ゆき子（防災科研）

. 15:15-16:15

座長：竹井巖（北陸大学）

- 30. 復氷過程における負圧と蒸気泡の発生
田中るみ・対馬勝年（富山大学）

- 31. 氷の摩擦機構に関する統一理論の試み
対馬勝年（富山大）
- 32. ロシア・カムチャッカ半島の氷河における数値モデル研究
◦ 山口悟（防災科研・長岡）・成瀬廉二（北大低温研）・白岩孝行（北大低温研）
- 33. 長岡雪氷防災研究所の新プロジェクト
◦ 佐藤篤司・石坂雅昭・山田穰・清水増治郎・小林俊市・納口恭明・中井専人・山口悟・佐藤威・阿部修・小杉健二（防災科研・長岡雪氷防災研究所）

. 16:15-17:15

座長：佐藤篤司（防災科学技術研究所・長岡雪氷防災研究所）

- 34. 雪の力学的振動応答特性の温度依存性
◦ 竹井巖（北陸大薬）・前野紀一（北大低温研）
- 35. 降雪臨界気温について
畑時男（石川工業高等専門学校）
- 36. 積雪の音響透過係数の測定
◦ 小南靖弘・横山宏太郎（農研機構北陸研究センター）
- 37. 雪結晶成長中の水蒸気過飽和度の推定
◦ 薄井たかし・対馬勝年（富山大）

（森林総研十日町試験地 竹内由香里記）

北信越支部共催事業のお知らせ

平成 14 年度長岡市立科学博物館雪氷特別企画 「雪 & 氷とのステキな出会い」

主催：長岡市立科学博物館，（独）防災科学技術研究所長岡雪氷防災研究所，日本雪氷学会北信越支部

目 的

雪氷に関する興味深い展示と実験・観察とを実施し、それらを通して長岡の歴史や 風土、市民生活に密接に関わっている雪への理解を深める。

日程・内容等

1. 特別展「雪 & 氷のステキな世界」

期間：7月18日（木）～9月1日（日） 期間
中無休

会場：長岡市立科学博物館（長岡市柳原町 2-1）

内容：雪の結晶、積雪の科学、雪崩現象、雪形、
消雪パイプ、雪上車などについて展 示・解
説する。主な展示品は、「雪華図説」「続雪
華図説」（江戸時代に日本で最初につくられ
た雪結晶図集）、人工雪実験装置、雪結晶の
写真、雪上車の特許証など

2. 雪氷実験講座「チャレンジゆきがき 21」

内容：人工雪結晶づくり、ダイヤモンドダスト
づくり、霜柱づくり、南極の氷の観察 など、
雪や氷に関する実験や観察（21 項目）に参
加すると、日本雪氷学会から「ゆきがき認
定証」が交付される。21 項目を A、B、C
の 3 つのコースに分け、夏期は A、B の 2
コースを実施するので、各 1 回ずつ参加す
る。C コースは、12 月下旬から来年 1 月
中旬に実施予定。

対象：小学生～一般（A、B の両コースに 1 回
ずつ参加できる人）

参加料：無料

申込み：A コースと B コースのどちらか先に参
加したい日の前日までに長岡市立科学博物
館（長岡市柳原町 2-1）へ 直接または電話
（0258-32-0546）で

A コース

内容：南極の氷の観察、いろいろな氷の結晶
の観察、過冷却の実験

期日：7月25日（木）から 8月29日（木）
までの間の毎週木曜日

時間：午前 9 時 30 分～、11 時～、午後 1 時
～、2 時 30 分～、4 時～

（所要時間 1 時間 1 日 5 回実施）

会場：長岡雪氷防災研究所（栖吉町字前山）

定員：各回 25 人

持ち物：防寒着、手袋、筆記用具

B コース

内容：人工雪結晶づくり、ダイヤモンドダス
トづくり、霜柱づくり、雪崩シミュレ
ーション実験など

期日：7月20日（祝）から9月1日（日）ま
での間の毎週金曜～日曜日
時間：午前9時30分～正午と午後1時30分
～4時（1日2回実施）
会場：科学博物館自然展示室（柳原町2-1）
定員：各回20人
持ち物：手袋、筆記用具

（長岡市立科学博物館 加藤正明記）

（北信越支部 編集担当 竹井巖編）